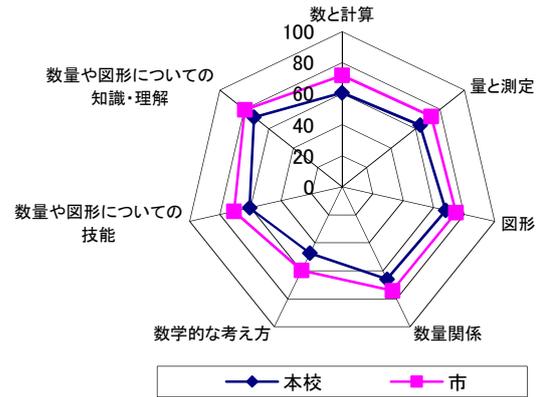


# 宇都宮市立清原東小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	60.6	71.8
	量と測定	63.7	72.8
	図形	67.9	74.7
	数量関係	66.0	74.1
観点別	数学的な考え方	47.3	59.7
	数量や図形についての技能	60.7	70.9
	数量や図形についての知識・理解	72.1	79.6



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市平均を下回っている。</li> <li>たし算の正答率は市平均を上回ったが、引き算、かけ算、割り算の正答率は市平均を下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な計算が十分身に付いていないので、定着が図れるよう、計算のし方を復習しながら指導する。</li> <li>文章題についても、求めるものは何か、式は何算になるかを復習しながら練習問題に取り組みさせる。</li> </ul>
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市平均を下回っている。</li> <li>長さ、重さの単位の理解が低い。</li> <li>時刻と時間の理解が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長さ、重さの単位を整理しながら復習し、練習問題に取り組みさせて定着を図る。</li> <li>時刻と時間の関係や表し方を復習し、練習問題に取り組みさせて定着を図る。</li> </ul>
図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市平均を下回っている。</li> <li>直方体の等しい辺の長さの本数の理解は、正答率がほぼ市平均だった。</li> <li>直方体の面の形と数の理解は低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な活動を通して、図形の基礎的事項の理解(面の形、辺、頂点の数など)の復習をし、練習問題に取り組みさせて定着を図る。</li> </ul>
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市平均を下回っている。</li> <li>□を使った乗法の式に合った文章問題を選ぶ問題の理解は低い。</li> <li>棒グラフの読み取りは、市平均だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章問題から□を使った式を作ったり、□を使った式に合う文章問題を選んだりする練習問題に取り組みせ、□を使った式に慣れさせ、定着を図る。</li> </ul>